

会報

国鉄闘争全国運動

国鉄分割・民営化反対！ 1047名解雇撤回！

61号
2015年6月16日

国鉄分割・民営化に反対し 1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動事務局
千葉市中央区要町2-8 DC会館内
TEL 043-222-7207
nationwidemovement@yahoo.co.jp

解雇撤回10万筆署名を達成

第2の分割・民営化と闘い 全国で国鉄闘争の発展を



最高裁は署名の重みかみしめよ

東京・日比谷公会堂で6月7日、国鉄闘争全国運動の呼びかけで全国集会を開催し、開始直前の集計で解雇撤回署名の目標10万筆を達成しました。発言の一部を紹介します。

通常国会での闘いが正念場

全日建連運輸連帯労組関西生コン支部執行委員 平山正行

安倍政権は戦後70年の首相談話を発表すると表明し、集団的自衛権行使容認に伴う関連法の改正手続きに入っています。労働者派遣法の改正案が提案され、さらにホワイトカラー・エグゼンプションの導入です。労働法制改悪を阻止するため共同の闘いを組織します。今年の通常国会の闘いが正念場です。安倍政権は原発再稼働を促進しています。沖縄では名護市長、

1万円の賃上げを3年連続で獲得しています。産業政策運動の関西生コン支部は15春闘で大阪府構想を粉砕しました。この情勢の中、動労千葉は反外注化を掲げてストを打ち抜き8名の仲間を獲得しました。橋下打倒の闘いでは、港合同の仲間を中心に休日返上の闘いで大阪府構想を粉砕しました。

解雇撤回・JR復帰を求める最高裁署名 10万1076筆 (15年6月16日現在)

前進、組織拡大、新会館建設を始め、生コン支部50周年事業の成功に向けてがんばっています。一昨日、事務所にガサが入りましたが、これをはねのけが

都構想粉砕し橋下を倒した

全国金属機械労組港合同委員長 中村吉政

この間、橋下大阪市長による労働組合破壊攻撃に対して全国のみさんから多大なご支援をいただいて参りました。厚く御礼申し上げます。

職場・地域で組織化を

国鉄闘争全国運動呼びかけ人 伊藤 晃

国鉄闘争全国運動は6年目になりました。全国運動の意義は1047名の解雇撤回だけでなく、反戦平和を基軸とした、働く者の、あるいは人間の尊厳を問う闘いであると思います。

国鉄分割・民営化に決着を

動労千葉委員長 田中康宏

JR資本の住民の命を軽視した企業方針にメスを入れて、公共交通機関の社会的責任をまっとうさせ、再び尼崎の惨事が起こらないような運動を進めていきたいと思っています。

5月17日の住民投票で橋下市長や大阪維新の会が進めてきた大阪府構想は否決され、市長退陣と政界からの引退を待ちどおり

計10万筆を提出 解雇撤回判決を

国鉄闘争全国運動は6月16日、最高裁判所に対して解雇撤回・JR復帰署名を提出した。6・7集会で目標の10万筆を達成しての署名提出となった。

署名提出を終え、動労千葉顧問弁護士の葉山岳夫弁護士は「この署名には全国の労働者の怒りが結集している。最高裁は10万筆の重さをかみしめた判決を」と訴え、動労千葉議団の高石正博さんは「みんながそう思っているから10万筆も集まった。これからも仲間を増やして闘いたい」とアピールした。

はもう何もすることがない」と思わせることです。われわれのなすべきことは、労働運動がこの現実に対してできることを社会に示すことです。ここに10万筆署名の成功の意味がある。

動労千葉の館山や銚子の運動、動労水戸の被曝労働阻止の運動は、署名運動のこれからの発展の姿を示しています。社会の崩壊の中で、問題解決の出口を示す役割を全国運動は持っている。社会の再建は労働運動の再建によるほかありません。

労働運動に労働者を組織させなければ戦争はできない。そこに安倍の弱点があります。私たちに明るい未来がある。国際連帯です。労働者がどういう世界をつくるのか、国際的に広く議論をし、共同の行動をつくり出し、その中で日本の労働運動の任務を果たそう。

攻撃が始まっています。その柱は、鉄道を動かすすべてを労働者ごと外注化し、突き落とす。これが怒りのかたまりによって吹き飛ばされたいはずがない。それはもう始まっています。この春、JRの下請け会社の8人の仲間が動労千葉に結集してくれました。今日を出発点として国鉄分割・民営化に決着をつける、外注化を粉砕して、闘う労働組合をもう一回つくり直す新たな決意を込めて進みたい。そのために組織拡大を実現する決意です。動労総連合を全国につくりあげます。

韓国の民主労総のように、沖縄のように、自らの闘いでゼネストをたぐり寄せる闘いをしなきゃいけない。ともにこれからも進みたいと思います。

国鉄 全国運動の本格的発展へ

全国に動労総連合を

動労水戸副委員長 辻川慎一

2011年の3・11の原発事故、その過酷な現実との闘いを労働組合の団結で闘いぬいてきました。被曝労働絶対反対、外注化絶対反対、この闘いは国鉄



労働者のみならず、すべての労働者の心をわしづかみにする闘いです。

5月24日、福島県いわきで原発労働者との交流会が開かれました。この原発労働者への3・11から9日間、日本の国民を守るために命をかけて原発事故の収束作業にたずさわってきた人

です。動労水戸の被曝労働拒否、特に常磐線竜田延伸反対闘争を、「百パーセント正しい」と言って支援してくれた。

その彼が「原発に必要なのは労働組合なんだ。原発労働者を被曝させない、それはもちろんだけれども、技術者も自分たちがつくるしかない。」そう言っている。

この原発事故を引き起こし、戦争にまでいこうとしている安倍政権、フルジョア国家権力を打倒するために、日本全国で

原発労働者と団結して闘う労働組合を建設する。ストライキのできる労働組合が必要で、全国でもなく動労総連合の旗を打ち立ててストライキで闘いましょう。

鉄道民営化阻止を

鉄道労組ソウル地方本部 首席副本部長バクソンス

今も全世界に新自由主義の風が激しく吹き付けています。資本主義の末期症状である新自由主義は労働者を攻撃し、労働組合を破壊し、労働者を失業と解雇の恐怖の中に押し込めていま

韓国政府と資本は鉄道を民営化し分割するために絶え間なく攻撃しています。私たち全国鉄道労組は02年から今まで5回のゼネストを敢行し、3回の警告ストを含めて8回にわたるストライキ闘争で民営化攻撃と分割攻撃と闘ってきました。

バクソンス政権は今、再び賃金ピーク制、年俸制、退出解雇制度で労働者と労働組合を攻撃しています。鉄道公社を分割するために物流、施設、車両部門の分離独立攻撃を加えています。

民主労組は断固立ち向かいストを敢行するでしょう。鉄道労組も公共運輸労組とともに断固とした連帯ゼネスト闘争で阻止しぬく準備をしています。

尊敬する国鉄闘争全国運動の同志のみなさん！ 国境はあっても闘う労働者はひとつです。みなさんの粘り強い闘争を韓国鉄道労働者、民主労組や公共運輸労組の同志に伝えます。「28年たっても民営化撤回と解雇者復職をあきらめない同志たちと連帯し、共同闘争をしよう」と主張します。

労働者はひとつだ。国鉄解雇者を復職させよう！ 鉄道労働者はひとつだ。民営化を撤回させよう！

全島ゼネスト必要

沖縄・北中城村議 宮城盛光

沖縄は今、安倍政権が戦争する国へ踏み出したこと、また今の国会での戦争法案、辺野古新

基地建設、さらには基地の島、貧困の島、非正規の島という沖縄の現実への怒りが巻き起こっています。沖縄の現実を根本からひっくり返していく闘いが求められています。それが全島ゼ

ネストです。

動労総連合を先頭とする、闘う労働組合の登場が一切の情勢を決する時代に入っています。ともに闘いましょう。

再稼働を許さない

福島診療所建設委員会 呼びかけ人 佐藤幸子

福島では127人の子どものちが甲狀腺がんの疑いと発表されました。県民健康調査検討委

あと一歩まで来た

動労千葉顧問弁護団長 葉山岳夫

国労本部は4・9政治和解で屈服し、二度と解雇や不当労働行為を争いませぬ」という証文を入れました。この4・9政治和解攻撃を全国運動は階級的労働運動ではね返して決起しま

した。その闘いが、東京地裁・東京高裁に、動労千葉組合員のJR不採用は組合差別であり、JRに法的責任があることを認めさせました。解雇撤回まであと一歩です。

この裁判で、JR不採用基準を策定したのは葛西敬之と井手正敬であり、それにJR設立委員会委員長で経団連会長の齋藤英四郎が加担したことを暴きました。

解雇撤回・JR復帰を認めないのは明らかに不当判決です。動労千葉は上告し、国鉄闘争全

国運動は9万6千筆の署名を6次にわたり提出しました。最高裁はこの闘いに直面して反動判決を出せず、長考の段階に入りました。解雇撤回・JR復帰の正義は明らかです。絶対に勝利しましょう。

絶対に屈しない

国労小倉闘争団 羽廣憲

私たちは解雇撤回の闘いを営々と続けています。われわれは絶対に屈しないという決意でありますし、ここで負ければ青年労働者の未来をも放り投げてしまふ、そういう責任があるから、28年たった今も国鉄分割・民営化絶対反対の闘いを継続しています。

私たちは安倍政権を打倒する闘いの一つの柱として、動労総連合を全国につくっていきたくて、私たちは国鉄労働組合です。その私たちが動労をつくる、闘う労働組合をつくる。それは私たちの大きな転換点でしたし、はつきり言って単純ではありません。しかし、それをやりきらなければ私たちはただの組合に成り下がってしまいます。

私たちは国労原告団もさらに団結を固めて、動労総連合を全国につくり上げる闘いの先頭に立って、みなさんとともに闘いぬきたいと思ひます。

全国の仲間と共に

動労千葉争議団 中村 仁

私たち動労千葉が今も闘えているのは、28年前に国鉄分割・民営化に反対して

ストを闘い、28人の解雇者を出したことが一番大きかったと思ひます。動労千葉の組合員はその人々を守り、われわれ争議団も守りながら、今も現場でその闘いを実践し続け、そして組織拡大をかちとった。生半可なことじゃなかったと思ひます。でも一生懸命、真剣になつて闘ったからこそ今、動労千葉に青年が結集し、非正規職の人たちが結集しています。

私たちも解雇撤回をかちとるべく裁判闘争を闘いますけども、裁判闘争は結果です。解雇撤回になつてJRに帰ればよいかもしれない。でも動労千葉の組合員一人ひとりががんばっている、全国の労働者ががんばっている、その先にわれわれの未来があるんだと思ひます。

全国の力で達成

国鉄闘争全国運動 東京東部の会 米山良江

全国の方で10万筆を達成した。本当に良かった。1047名解雇撤回闘争はこれからが本番です。

国鉄闘争全国運動・東京東部の会は、月1回の学習会を力に、署名に精力的に取り組んできました。私が特に力を入れたのは労組回りです。オルグを中途半端にしないことを心がけてやってきました。本部が4・9政治和解に賛成している労組にも行き、労働組合についての真剣な話し合いになりました。街頭署名でも安倍への怒りが噴出してきます。署名で出会った女性が集会にきています。

動労総連合とともに国鉄闘争全国運動を労働組合の闘う結集

軸に飛躍させ、安倍の戦争・改憲を打ち破りましょう。

地域で国鉄集会を

入江史郎

10万筆署名を達成しました。われわれは大したもんです。しかし1047名解雇撤回闘争は判決で決まるわけではありません。職場、地域、全国の闘いが決めます。自信をもって職場、地域に戻り闘いぬこう。11月労働者集会に向け昨年を2倍、3倍する国鉄集会を全国各地・全産別で取り組んでほしいと思ひます。

労働現場と戻す

世田谷地区労働顧問 花輪不二男

これから新たな運動の展開です。

第一に、国鉄闘争1047名解雇撤回、民営化・外注化を阻止し、働く仲間の手に労働現場を取り戻そう。
第二は、すべての職場から無権利・使い捨ての非正規労働者をなくし、闘う労働者を組織しよう。

第三は、沖縄や原発闘争の仲間とともに国鉄闘争全国運動を広げ、韓国・民主労組を始め新自由主義と闘う全世界の労働者と団結しよう。

最後に、解雇改憲と戦争政策を進める安倍反動内閣は打倒しよう。

今日の熱気を各職場、地域、学園に持ち帰り、ここに結集できなかった仲間にも呼びかけて、団結の輪、闘いの輪を広げましょう。

